

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年 3月 22日

会長 藤嶋 剛史

例会場:パレスホテル大宮

幹事 横溝 一樹

第2814例会 2024/03/25

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

発行日 2024/04/08

会長挨拶



会長 藤嶋 剛史

本日はインターアクトクラブについて卓話をいただくのですが、インターアクトとは学校や地域でのボランティアを通じた奉仕活動や、それを通じたリーダー

シップの育成、また、海外のインターアクト会員との国際交流を通じて国際感覚を養い、異文化について学び、国際親善に貢献することなど、楽しみながら世界中に友だちをつくることを目的としています。近年その対象年齢が12歳に下がり、中学生も活動可能となったことから、埼玉栄高校さんに、中学で吹奏楽部でなくインターアクト活動のみのクラブを創っていただけないかお願いしたところ、小野先生が顧問をされている「総合探求部」がまさに最適のクラブではないか、とご紹介いただきました。本日はその活動内容をぜひ会員の皆さんに知っていただきたく卓話をお願いした次第です。当クラブにも青山学院大学出身の方がいらっしゃいますが、日本のロータリーの父と呼ばれる東京ロータリークラブ初代会長の米山梅吉氏は、青山学院の前身である東京英和学校で英語を学んだのちアメリカに留学した経歴があり、その縁で青山学院の初等部を創立し初代校長となりました。そして奥さんが付属の幼稚園の園長となり、私財を投げ打って夫婦で児童教育に心血を注いだそうです。その根底には、真の教育は根底から始めるのが大切、つまり少しでも早いうちからの教育が大切である、という考えがあったそうです。子育ては「つ」のつく歳まで、などと昔から言われますが、要は9歳までに覚えたこと、教わったことが人格形成に大きく影響するということだと思います。インターアクトの活動も、「つ」のつく歳

は無理ですが、中学など少しでも早い年齢から始めることが、青少年の健全育成にも大変役立つのではないかと思います。今日は埼玉栄の生徒さんたちがどのような活動をしているのかを知り、今後当クラブとインターアクトの皆さんでどのような奉仕活動をしていけるのかそんな可能性を模索する機会にいただければと思います。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

井田 人志 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- 埼玉栄中学・高等学校 総合探求部 顧問 小野 孝寛様
- オブザーバー/近畿日本ツーリスト株式会社 埼玉支店 支店長 亀山 貴聡様
- 2023 学年度米山記念奨学生 金 亮希さん (ご紹介:副会長 染谷 義一)

幹事報告



幹事 横溝 一樹

- 1.次年度の年度計画書記載事項につきまして、確認のご案内を封筒にてボックス配布いたしました。各自ご確認の上、変更点がございましたら事務局までお知らせ下さい。
- 2.4月18日の第3第4グループ合同チャリティゴルフコンペに参加いただける方を引き続き募集しております。当日受付のお願いもございましたので後ほどご案内させていただきます。
- 3.次回例会は4月2日(火)、観桜夜間例会となりますのでお願いいたします。

把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/

